

会 議 録

会 議 名	第 2 0 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 9 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	平成 2 2 年 3 月 2 日（火）午前 9 時 3 0 分～正午		
開 催 場 所	公民館貫井南分館学習室 C		
出 席 委 員	安部まり子委員、伊藤清委員、瀬上ゆき委員、妻木誠二委員、 前川正治委員、松浦妙子委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	松本浩明主査、渡邊正志、山崎光昭		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	1 公民館運営審議会の報告（2 月 2 6 開催） 2 多摩・島しょ地域力の向上事業について 3 各講座の報告と計画 〔報告〕成人学校「自分を守る力」他 〔計画〕平成 2 1 年度 成人学校「坂の上の雲」、「歴史と文学 散策」他 平成 2 2 年度 成人学校「植物観察会」他 4 その他 次回の日程について 平成 2 2 年 4 月 6 日（火）午前 9 時 3 0 分～		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会の報告（2月26日開催）

（1）報告事項

ア 三者合同研修会について

2月2日（火）午後2時から本館学習室A・Bにおいて41名の参加で開催。今回は、テーマをアンケートした結果、「建築学からみた公共空間の創造」となった。話の要点として2つ。一つはゼロからの出発ではなく、先人の歴史のうえで創る。二つ目は地域の風土を大切にする。

イ 公民館事業の報告について

貫井南分館からは、成人学校「リフレッシュ・ヨガ」・「自分を守る力、そして人を守る力を伝えていきたい」、国際交流イベント「日本の伝統文化 初釜」を提出。質疑なし。緑分館の成人大学「生活の中の最新科学技術」では、若者の参加が少なかったことについて、PR（広報）の仕方に一工夫が必要。若者はホームページか携帯電話から情報を得ていることを踏まえることが大切。本町分館の男女共同参画講座「パパと子供の心をつなぐコミュニケーション術」について、20人募集のところ6人であった。参加者からは参加して良かったとのことであったが、PR（広報）の仕方について、市報、ポスター、チラシは高齢者向けであるPR方法を考えた方が良い。タイトルも重要な要素である。

ウ その他

委員部会研修を2月21日に行った。山田委員、大橋委員長が出席。事例報告では西東京市柳沢公民館が予約システムについて、国分寺市本多公民館がグループとの協働事業として、自治会、商工会、民生委員等との連携を行っていく、多摩市永山公民館は小・中学生を対象の科学の話を八王子高専との連携で講座を行った事例を報告。その中で、西東京市の職員は、館の運営と情報発信が主な仕事で、他館の情報がすぐ出せるという話があった。また、国分寺市でのサークルと事業（企画）を協働で行うことを小金井市でも行ってみてはどうか。また、利用者懇談会を年に1・2度開催する必要がある。

（2）協議事項

ア （仮称）貫井北町地域センター建設市民検討委員会委員について

公民館運営審議会から1名を選出。任期は平成22年7月～24年3月。およそ月1回の会議。22年度は9回、23年は6回で合計15回の会議を開催。謝礼は1回参加につき1万円。委員選出については、次回に無記名投票を行い決定する。

（3）審議事項

ア 公民館事業の計画について

質疑なし

イ 来年度の重点項目について

○ホームページについて

情報システム課と調整中。現状は、市のホームページから中々たどり着けない。掲載内容は講座の紹介と月刊こうみんかんをPDF化したものを掲載する予定である。記録として、企画実行委員の会議録、公民館運営審議会会議録も項目に入れることを検討中である。講座でメール応募できることや小金井市の公民館とはこんなところという紹介も入れると良い。

○月刊こうみんかんについて

3,200部から4,000部に増刷し、800部について現在、農協、銀行、生協、郵便局に置いてくれる事業所を模索している。

ウ 三者懇談会のテーマについて

三者のネットワーク作りが主な課題。次の2つを公民館運営審議会から提案する。

○生涯学習情報システム

○ネットワーク作りについて

2 多摩・島しょ地域力の向上事業について

2月16日（火）の公民館職員事務打ち合わせにおいて、本館からユニバーサルデザインを考える講座について、貫井南分館と本町分館にも参加してもらいたい旨の話があった。貫井南分館では、その講座の主旨が公民館全体に係ることか、（仮称）貫井北町地域センターに特化したものか、仮に後者に係ることとした場合に具体的に建築、設計に学習成果を反映できるのか等の意見から、この講座は単に学習に過ぎないことから考慮し参加は難しいこととなったが、興味のある方は3月18日（木）午後2時から本館学習室Bで開催するので参加することとする。

3 各講座の報告と計画

【報告】

○成人学校「自分を守る力、そして、人を守る力を伝えていきたい」

2月13日（土）に午後1時から実施。募集30人のところ45人の参加であった。当日は、みぞれ交じりの天候の中、午前中に防災訓練を行って約70人の参加者があった。お昼には炊き出しを1階の老人いこいの部屋で行い、講師の高野甲子雄さんのホテルニュージャパン火災時の消防隊長を務めたときのDVDを見ながら食べ、会場を学習室A・Bからそのまま1階に変更して講演を行った。消防隊としての経験からの話やロープの使い方伝授と興味深い話で盛況であった。

○成人学校「リフレッシュ・ヨーガ」

参加者30人で、年代は30・40代を中心に女性のみとなった。保育士3人で保育対象幼児は11人であった。若いお母さんの参加があったことはとても良かったので継続しての実施が望まれる。残念ながら自主グループ化はリーダーがいなかったため、できなかった。

【計 画】

平成21年度

○成人学校「坂の上の雲」

申し込み状況は、30人定員のところ現在69人と盛況である。申し込み初日の午前中で定員の30人に達したが、企画実行委員とも相談しできるだけ希望を叶えることで定員を70人まで申し込み可能とした。当日参加希望の方も来館した場合も受け入れることとする。

○成人学校「歴史と文学散策」

申し込み状況は、定員20人に対し107人からの応募である。応募状況から来年度同じ形で再度、実施することを考えたが、落選はがきを出してからの反応で決めること

とする。申し込みの往復はがきの中で、夫婦で1枚に書いてきた方についての対応は、次回から市報で一人1枚とすることを明記する。

○子ども体験講座「ぬくい少年少女囲碁クラブ冬季大会」

今回は、3月7日（日）に、ぬくい会囲碁部の体制がとれないことやインフルエンザの影響を考慮し、練習日を設けず大会のみで実施する。前回参加してくれた子供たちにハガキで案内を出したところであるが、反応はどうかというところである。

○成人学校「江戸野菜に親しもう」

3月15日（月）が閉講式。ミュゼ・ダグリの土井利彦さんも出席する。来年度は4月5日に開講式を迎え、翌年の3月14日までの全46回を予定している。イベントとしては貫井南センターまつりに出店するほか、春、夏、秋に学習と親睦を兼ねて野外学習に出かける。収穫祭を例年どおり春と夏に実施する。4月5日の開講式は東京学芸大学の環境実践施設で行うので企画実行委員全員の参加をお願いする。

平成22年度

○植物観察会

4月13日（火）に実踏、同月27日（火）に実施予定。茨城県のつくば植物園と樹木園に行く予定である。植物の動きが4月から5月が盛んになることから4月から5月の実施が望ましい。広報は市報4月15日号で、締め切りは4月20日頃を予定している。講師は大菅文雄さんをお願いする予定。

○男女共同参画講座

2月12日に男女共同参画室・古谷さんを交えて準備会を行った。具体的な話は出なかったが、他市で行っている講座の資料をいただいた。この準備会では、「はじめての子育てコーチング」はどうかということになったが、その後、総理府婦人担当室の担当官であった現在、昭和女子大学学長の坂東眞理子さんにあたってみたが、

都合により叶わなかった。現在、津田塾大学の女性研究者支援センターとコンタクトをとっている。その関連で、津田梅子氏（津田塾大学の創始者）、石井筆子氏（知的障害者福祉の創始者）、吉岡弥生氏（東京女子医科大学の創設者）の話を当時の背景と共に話してもらうことも検討する。秋の開催が良いので、10月8日から4回で行う予定とする。

○市民講座「映像でつづる昭和の歴史」

6月11日・18日・25日、7月2日・9日のいずれも金曜日の午前10時から正午に開催する。今年度は、サンフランシスコ講話条約で終わったのでその続きとなり、内容は、「東京裁判」、「日本の再軍備」、「原水爆禁止運動」、「保守合同」、「安保反対運動」となる。

○貫井南センターまつり

イベント部門として、公民館の出し物をどうするか。映画「おくり人」はフィルム of 賃料が高こと、音楽関係で音楽鑑賞のつどいで行ったツィターの出演料の問題があり、祭を盛り上げる意味合いから顔面紙芝居「ピカ後藤」にお願いする。江戸野菜では、駐車場で恒例の野菜の即売と豚汁（アルファ米によるおにぎり）を作りたいと考えている。また、1階の育成室が借りられたら喫茶ルームを行う予定である。

○成人学校（仮称）「フォークギター教室」

成人学校枠の8回を使い、初心者対象に若者に公民館に来てもらいたいことから開催したいと考えている。時期については、まだ、未定である。講師の先生とは一度電話にて話をした。資料も作ることができるが、ギターは揃えることはできないので持参してもらうようになることと、初めの考えでは「フォークおやじ」を集めたかったが、それではギターを教える際にそれぞれ弾きたい曲の方向性がばらばらになることが考えられるので、初心者で横一線の状態が望ましいとの先生からの提案から初心者のためのとした。これに伴って、アコースティックギター（フォークギター）を無償でお譲りくださいという記事を市報4月1日号で掲載する。ハーモニカ教室でもどうか。ただ、ハーモニカ等楽器は、公民館で揃えることができないことから、受講者に買わせなければならないところがネックとなる。

○高齢者学級「けやき学級」

日程と内容が決まった。今年度と比べると、新しい講師と内容が全体の3割程度を占めたこと、班活動を3回から2回にしたところが大きな変更点となる。本町分館と合わせて4月15日号でお知らせする。

4 その他 なし

次回 4月6日（火）午前9時30分から学習室C